



AIに魅力度が評価された上位の県内自治体

順位	自治体
1	長泉町
2	清水町
3	三島市
4	裾野市
5	浜松市

持続可能性があると評価された上位の自治体

順位	自治体
1	吉田町
2	袋井市
3	菊川市
4	長泉町
5	御殿場市

人工知能（AI）が選んだ魅力ある自治体は「地域シンクタンクの中部圏社会経済研究所（名古屋）がさまざまな統計データをAIで解析し、全国の自治体の魅力度の指標をはじき出した。県内1位は長泉町で、同研究所の担当者によると「福祉や子育てサービス」の充実」と説明。一般に定着している「子育てしやすい町」との同町の評価が、AIからも「お墨付き」を得た格好だ。

117種類の統計データから、AIが人を引きつける魅力を測るものとして生活基盤▽教育▽コミュニティ▽住民・福祉▽女性活躍の5分野17データを選択。ウェイト付けをして点数を算出した。

魅力的な市町

県内 1位

AIが解析「お墨付き」

中部圏社会経済研調べ「持続可能性」は吉田

長泉町は生活基盤分野の1人当たり課税対象所得といったデータに基づく点数も高く、バランスの良さが光った。2～4位も東部の市町で、利便性が主に評価された。5位浜松と6位静岡の両政令市は一世帯当たり年収は上位だが、コミュニティ分野のデータに弱さが見られた。

自治体の魅力度に関しては、これまでにも「住みやすさランキング」や「幸福度ランキング」があったが、同研究所の担当者は「根拠となつていないデータの採用基準などが不透明だった」と指摘。AIを使うことで主観を排除し、客観的な判定ができたとしている。

同研究所は併せて、自治体の持続可能性の指標も開発。地域住民全体のどれだけが社会、経済運営に参画して支えているかを表したもので、県内は1位が吉田町、2位袋井市、3位菊川市だった。上位市町は高齢となつた後も農業などの産業に従事し、生涯現役に近い生活を送れる環境が共通している。

担当者は二つの指標を総合し、「自治体は今後、それぞれの魅力に合致した価値観を持つ人々を呼び込み、一人でも多く地域経済の循環に参画できるような政策展開が重要になる」と話している。

（経済部・牧野めぐみ）

2019年8月16日朝刊

- ① 見出しの□の部分に入る市町はどこでしょうか。書き込んでみましょう。
- ② 人を引き付ける魅力を測るものとしてAIが選択した5分野を書いてみましょう。

[

]

[

]

[

]

- ③ 魅力ある自治体を選ぶためにAIを使うことになった理由はなんですか。

[

]

年 組 名前